

## <白金標準、米中の景気減速懸念を受けた底確認・・・>



(出所：オアシス)

中国製造業 PMI の発表で好不景気の分岐点を下回るなど、中国政府が目標としている経済成長 5%が難しくなった事から中国の株や豪州ドルが売られている。また米国製造業 PMI や ISM 製造業景気指数など 50 を下回る動きを示した事から米中の景気減速懸念が高まりを見せ景気商品である白金標準先物は、8 月 6 日の安値 4129 円に近づく 4175 円まで下値を模索している。しかし ISM 非製造業景気指数で好不景気の分岐点である 50 を 2 ヶ月連続で上回るなど、ソフトランディングの見方が強まっている。ただ週末に発表された雇用統計では、非農業部門雇用者数が事前予想を下回る 14.2 万人増と低下するなど、9 月の FOMC で利下げが確実視される内容となった事から、円高・ドル安の動きに一時 4175 円まで下値を試している。しかし NY 市場で 900 ドルを維持し、白金標準先物も 4200 円以下で下げ渋る抵抗を見せるなど下げ渋る値動きを見せている。特に 9 月 10 日には WPIC 第 2 四半期 PGM 需給報告が発表を控えており、PGM 価格の低下で南アフリカのプラチナ鉱山は生産拡大は難しく、2 年連続の供給不足が改善する可能性は低く底固めの値動きに注目したいと思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** は切り下げ、**シグナル** も切り下げている。RCI では**短期**は切り上げ、**長期**は下げている。また日足と **200 日移動平均線**の乖離が拡大するなど自律反発の動きに注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,340,000 円(2024 年 9 月 9 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 68,640 円(2024 年 9 月 9 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>